

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

| | | | | |
|--|-------------------------|---|-------------|---|
| 事業名 一般国道45号 仙塩道路 | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 国土交通省 東北地方整備局 |
| 起終点 自：宮城県仙台市宮城野区中野 至：宮城県宮城郡利府町春日 | 延長 | 7.8 km | | |
| 事業概要 三陸縦貫自動車道は、宮城県仙台市を起点とし、三陸沿岸地域を経て、岩手県宮古市に至る延長約220kmの高規格幹線道路である。 仙塩道路は、三陸縦貫自動車道の一部を形成すると共に、東北縦貫自動車道、仙台東部道路、仙台南部道路、仙台北部道路と一体となって、仙台都市圏の自動車専用道路環状ネットワークを形成し、経済・産業基盤を支える道路である。 | | | | |
| S57年度事業化 | | S58年度都市計画決定 | | S59年度用地着手 |
| S60年度工事着手 | | | | |
| 全体事業費 | | 838億円 | 事業進捗率 | 71% |
| 計画交通量 | | 22,500台/日 | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C | 総費用 | | 総便益 |
| | (事業全体) 2.7 (残事業) 3.8 | (残事業)/事業全体 219億円/1,307億円 事業費：188億円/1,266億円 維持管理費：30億円/41億円 | | (残事業)/事業全体 827億円/3,571億円 走行時間短縮便益：752億円/3,070億円 走行経費減少便益：58億円/384億円 交通事故減少便益：16億円/118億円 |
| 感度分析の結果 【全体事業】交通量変動：B/C=2.9~2.6(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=2.7~2.8(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=2.6~2.9(事業期間±20%) 【残事業】B/C=3.8~3.7(交通量 ±10%) B/C=3.5~4.1(事業費 ±10%) B/C=3.6~3.9(事業期間±20%) | | | | |
| 事業の効果等 ・物流効率化の支援 (特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス性向上が見込まれる) ・国土・地域ネットワークの構築 (隣接した日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成) 他11項目に該当 | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 ○宮城県知事の意見 事業の継続実施に異議ありません。 当該道路は今回の震災において「命の道」として大変重要な役割を果たし、その必要性・重要性が改めて認識されたところですので、より一層の整備促進を求めます。 ○仙台市長の意見 事業の継続実施に異議ありません。 当該道路は、今回の東日本大震災において、「命の道」「復興支援道路」として重要な役割を果たしておりますが、暫定2車線区間では慢性的な交通渋滞が発生しており、また、震災からの復興という観点からも更なるネットワーク強化を図る必要があることから、仙塩道路4車線化事業の推進をお願いいたします。 ○以下の団体等から、仙塩道路4車化、(仮)多賀城ICの整備促進について要望あり ・宮城県知事 ・(仮称)多賀城インターチェンジ早期整備促進協議会(多賀城市長) ・仙台都市圏広域行政推進協議会(仙台市長、多賀城市長、利府町長 他11団体) | | | | |
| 事業評価監視委員会の意見 対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。 | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・仙台北部道路との接続[利府JCT](H14) ・(仮)多賀城ICアクセス道路[(主)泉塩釜線]供用(H21) ・仙台松島有料道路の4車線化[利府中IC~松島北IC](H25完成予定) | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率71%(うち用地進捗率100%) | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | | | | |

- ・事業の進捗に係る問題はない。

施設の構造や工法の変更等

- ・新技術、新工法を活用し、コスト縮減を図る。

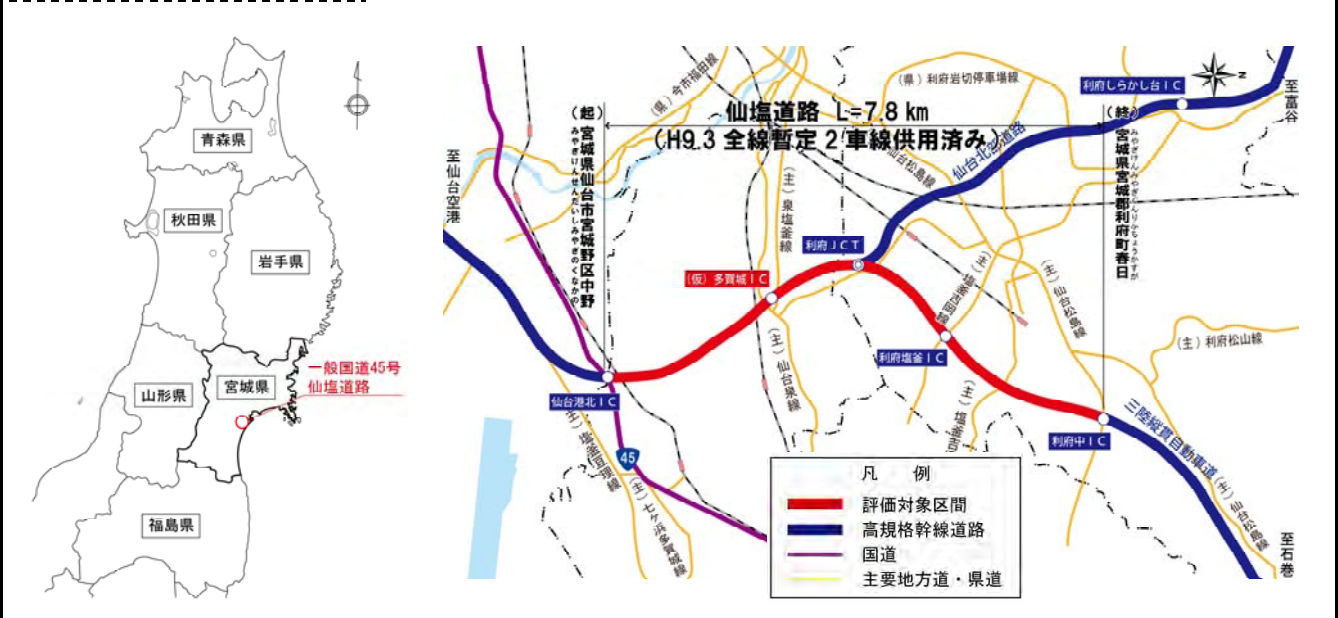
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。